

基本構想（素案）

基本理念「みんなが集い、創り、伝える、感動の飯田ひろば」

☆ 5つの基本方針：「集う」「観る」「創る」「伝える」「育む」

☆ 施設機能：①鑑賞機能 ②創造支援機能 ③交流促進機能 ④管理運営機能

◆基本構想（素案）について [主な意見]

- ・基本的には、これまでの意見が整理されてまとまって、反映されている。
- ・文化＝遊びであり、楽しむことを伝えられないか
- ・文化会館は、飯田のまちづくりの中でどんな位置づけになるのか（初めて基本構想を見る市民にも分かりやすい構成に）
- ・今までは舞台芸術に特化し意志のある人たちにフォーカスしていたが、これからは日常的にいろんな人が顔を出せる場所になってほしい（**日常的に利用できる、開かれた文化会館**）

◆舞台芸術活動が 「地域づくりの拠点」へ（小澤学識委員）

- ・近年の公共ホールは「芸術文化の拠点」以外にも「地域づくりの拠点」として地域課題に向き合う視点が求められる傾向がある。課題は地域や時代によって変化するので具体的には示し難いが、例えばアーティストインレジデンスやワークショップなどをキーワードとして、地域の課題解決に向けて地域・市民と連携する、という表現が素案にあると良い。
- ・次のステージにバトンタッチという意味で、今までの議論をより具体的にしていくのか、さらに広げていくのかを考えながら進めていけたらと思う。

◆舞台芸術以外にも 幅広い人たちが集える場所へ（山元学識委員）

- ・この地域は劇場に携わる人が多いが、舞台芸術以外での利用の仕方、例えば部活動での活用など、これまでのホールにはなかった使い方を模索し実行できると、より幅広い人たちが集える場所になるのでは。
- ・少しずつ新しいホールが見え始めた段階。基本構想を見た多くの市民の皆さんに「こんな場所ができるんだ」とわかりやすく伝えれば良い。一人でも多くの人がいりいろな形で関わり、「このホールに来てよかった」と思える新文化会館になることを期待する。

◆舞台芸術活動を中心に 優先順位をつけ柔軟に（佐々木学識委員）

- ・今まで議論した多くの情報を丁寧に整理して、枠組みを整えてできた状況。
- ・これがただ「基本構想としてまとめれば良い」だけでなく、どんなメッセージを送れるかを考えながら進めていけば、ポイントが明確でシャープな基本構想になっていくと感じた。
- ・これをベースにブラッシュアップしていくことを考えれば、きっと素晴らしいものができていく。